

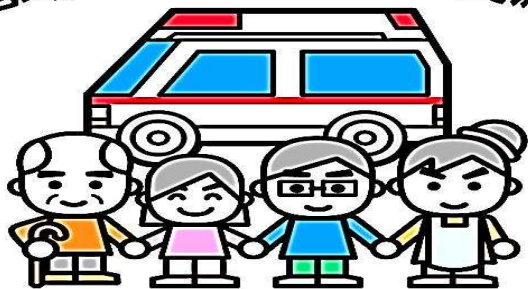
救急車は正しく利用しましょう！

近年、救急車の不適正な利用が全国的に増加し、救急車の適正な利用を呼び掛けています。

しかし、重症と判断した時は、**決してためらわず救急車を呼びましょう。**

救急隊は、傷病者の症状により、医師と連携を取り現場や車内で様々な処置を行います。

救急車は地域の限られた救急資源



◆処置の一例

処置項目	処置の内容
気道確保	・気管チューブなどを挿入し、人工呼吸を行います。
点滴処置	・ショック状態や心肺停止のときは、薬剤を投与します。
血糖測定 ブドウ糖投与	・低血糖のときは、ブドウ糖を投与します。
AED	・AEDによる電気ショックを行います。
異物除去	・喉頭鏡などを使用し、異物を取り除きます。
心臓マッサージ	・機械を使用し、心臓マッサージを行います。
止血	・止血帯を使用し、出血を止めます。
心電図測定 血圧測定 SpO ₂ 測定 聴診器	・観察状況や測定結果を基に、医師と連携し、処置を行います。

◎全国版救急受診アプリ「Q助（きゅーすけ）」

- ・緊急度を判定し、救急車の要否を支援！
- ・利用できる医療機関や受診手段の情報を提供！

Q助のダウンロードはこちらから →



家族の車などで搬送中においても病状が急変したときは、**ためらわず救急車を要請してください。**
速やかな救命処置が可能です！

